

日本ジオパークにも認定された豊かな自然を守って **SDGs** に挑む

環境大臣賞 石川県 白山市立北星中学校

多様な自然や文化・歴史が息づく地域として、市全体が「日本ジオパーク」に認定されている白山市。その北部に位置する同校の近くには、白波が寄せる砂浜が続く徳光・相川（そうご）海岸が広がっている。バーベキューや海水浴が楽しめる海浜公園として、市内外から多くの観光客が訪れる人気のスポットだが、広範囲にわたり漂着ごみが見られる。幼少期から親しんできた浜辺が汚染されていく光景を目の当たりにした生徒は、美化委員会を中心に海岸清掃を 2004 年に企画。ボランティア参加を呼びかけたところ、約 80 人が集まって清掃を実施した。その翌年からは、生徒会執行部が引き継いで活動を開始。年々参加者は増えていき、ほとんどの生徒が参加するまでに成長したため、2019 年からは全校で実施するようになった。総合的な学習の時間を使って漂着ごみを回収した後は、感想や記録を残し、次回の取り組みに生かしているのが特徴だ。

その海岸清掃をしている相川海岸では毎年 7 月下旬、ヒラメの稚魚放流も行っている。資源改善のために県漁業組合が長年活動している取り組みだが、人手不足などの理由から同校に協力依頼したのがきっかけで、20 年以上にわたり共同で開催している。

石川県漁業組合美川松任出張所の浜本英一さんは、「生徒さんたちがこの海岸清掃をしてくれることで、我々も安心して船を出すことができ非常に助かっています。ヒラメが大きく育つ環境になればうれしい」と感謝を寄せる。

同校では、「挨拶」、「学校行事」とともに、「清掃」に力を入れる 3 つの伝統が受け継がれてきた。校内清掃で培ってきた美化意識は、徐々に校外にも向けられるようになり、ポイ捨てごみを回収しながら通学する「通学路クリーン活動」も始めた。同時に、市が主催する「白山市クリーン作戦」にも進んで参加している。

こうした多岐にわたる取り組みを通じ、地域環境をよりよくするために今年度は、市へ提言書を提出。見据えているのは SDGs だ。日本ジオパークに認定された地域に住む一住民としての誇りを胸に、596 人の生徒たちのひたむきな挑戦は続く。



石川県 白山市立北星（ほくせい）中学校

学校長：石井 利幸（いしい としゆき）

生徒数：596 名(2020 年 11 月末現在)

住所：石川県白山市平木町 112-1

電話：076-275-4454

アクセス：JR「松任」駅からクルマで約 10 分

上：全校生徒で取り組む校区内の「徳光・相川海岸清掃」2 番目左：プラスチックの破片が多い漂着ごみ、右：40 分間の清掃でさまざまなごみを回収、3 番目：相川海岸で漁業組合とともにヒラメの稚魚放流活動、下左：通学路クリーン活動、右：白山市に向けて提言書を提出